

だんだん便り

第32号

2020年6月10日

一般社団法人だんだん会

408-0035 山梨県北杜市長坂町夏秋 918-5

- ・法人本部 **0551-45-9566**
- ・地域看護センターあんあん **0551-30-7505**
- ・定期巡回てくてく24 **0551-30-7787**
- ・オレンジサロンわいわい白州・長坂 **0551-45-9566**
- ・グループホームわいわい白州 **0551-30-7566**

408-0315 山梨県北杜市白州町白須 1023

- ・わがままハウス山吹 **0551-45-6323**

408-0044 北杜市小淵沢町 10123-2



山紫陽花 (ヤマアジサイ)・・・花言葉「乙女の愛」

咲き進んで半手毬咲きからしだいに花が紅色になり咲き終わります。
清楚な可愛い花です。

八ヶ岳仙人

グループホームわいわい白州・摩利支天

外庭工事、完成しました！！

暖かい季節になり、昨年から検討していた外庭改修工事が始まりました。最近の機械は振動が少ないのか、入居者さんが驚くようなことも少なく、スムーズにアスファルトが敷かれていきました。ベンチや椅子を置き、パラソルの下にできる日影でくつろぎました。そよ風が吹くと、「気持ちがいいねえ〜」とおっしゃっていました。プランターのお花や野菜を見ると、自然とお話が弾みます。車椅子の方も、歩行に不安がある方も、外の空気を吸いに出やすくなりました。甲斐駒や鳳凰三山がよく見えて、「やっぱりよねえ」と涙ぐむ方も。洗濯物干しや水撒きを頑張っておられます。次は野菜やお花を植えて行きましょう。

(摩利支天 山崎康弘)



懸案のアスファルト化の資金は、入居者さん（ご家族）からの資金提供と、当ホームで大往生で永眠された方からの多大なご寄付で完成しました。

わがままハウス山吹 (支援付き共生すまい)

インタビュー



新型コロナによる“緊急事態宣言”が発令されて2か月。入居者の皆様も日々の生活をかなり制限されましたが、運動不足を補うための近隣の散歩、入居者やスタッフの為のマスク作りと思い思いにこの期間を過ごされました。

“わがままハウス山吹”はこの4、5月に新しい2名の入居者をお迎えしました。外出制限があるこの期間に、入居者の皆様 一人一人にインタビューをさせていただくことになりました。生年月日順という事で、まずトップバッターのお二人、同年1月3日、1月4日生まれの渡嘉敷美智子さんと村本素子さんです。

Q：お二人はここで半年以上一緒に生活されていますが、お互いにお聞きしたいことはありますか？

〈村本〉 出身地とか趣味とか教えて。

私は京都府山科の出身、京女は意外と“イケズ”よ(笑) 私は違うよ。

〈渡嘉敷〉 東京四谷辺りと聞いている。親の都合であちこち動いていたからね。趣味は今は無いけど、以前は山登り。仲間を引き連れて百名山を歩いた。楽しかった！ ピアノを弾くのも好きだったなあ。あなたは何故“山吹”に来たの？

〈村本〉 夫と一緒にオレンジサロンに参加していた昨年に大病をして、「この先どうしたらいいんだろう」と本当に困っていた。その時に、だんだん会の中嶋さんに声をかけてもらったの。それから本当に世話になってきた。先週受診の為に京都に行けたことも、夫の事も・・・。

“山吹”に入所した事も、中嶋さんに本当に助けていただいた。

〈渡嘉敷〉 え～っ、そうなの？ 全然病氣なんて見えない、お元気そうにみえるわ。

Q：これからどんなふうに暮らしていきたいですか？

〈村本〉 病氣してきているから、“生かされている”と言う感じがして、日々を本当に大事にしたいと思っている。窮地に陥った時に出会えた中嶋さんや、私の病気の処置をしてくださった京都大の先生には感謝しきれない。感謝を忘れずに生活したい。

〈渡嘉敷〉 私も今は不満なんてないわ。周りの人はみんな良くしてくれるし、スタッフの人は深く干渉し過ぎないし、でも困った時には言えるしね。今までも苦労してこなかったと思うけど、もともと気にしない性格なのよね。気にしたってしょうがないって考える方なのよ。でもその方が楽に暮らせるわよ。(笑)

〈村本〉 美智子さんのそういう性格、素敵よ！羨ましい！自然の中で緑に囲まれて生活できることは嬉しいし、本当に自由に生活している。お願いが一つ、真夏には涼しい早朝に散歩に出たいけどお願いできるかなあ。

**Q：シビアな質問ですが、最期までここで暮らしたいですか？
最期を一緒にすごしたいと思う方は？**

〈渡嘉敷〉「最期までここで」と思っている。顔見知りの皆さんに囲まれて最期を迎えられたら幸せ。追ん出されないように気を付けなくちゃね(大笑い)

〈村本〉 そうよ、私も。できれば「夫を送ってから」と思っているけどね。夫の事が気がかりなもの。



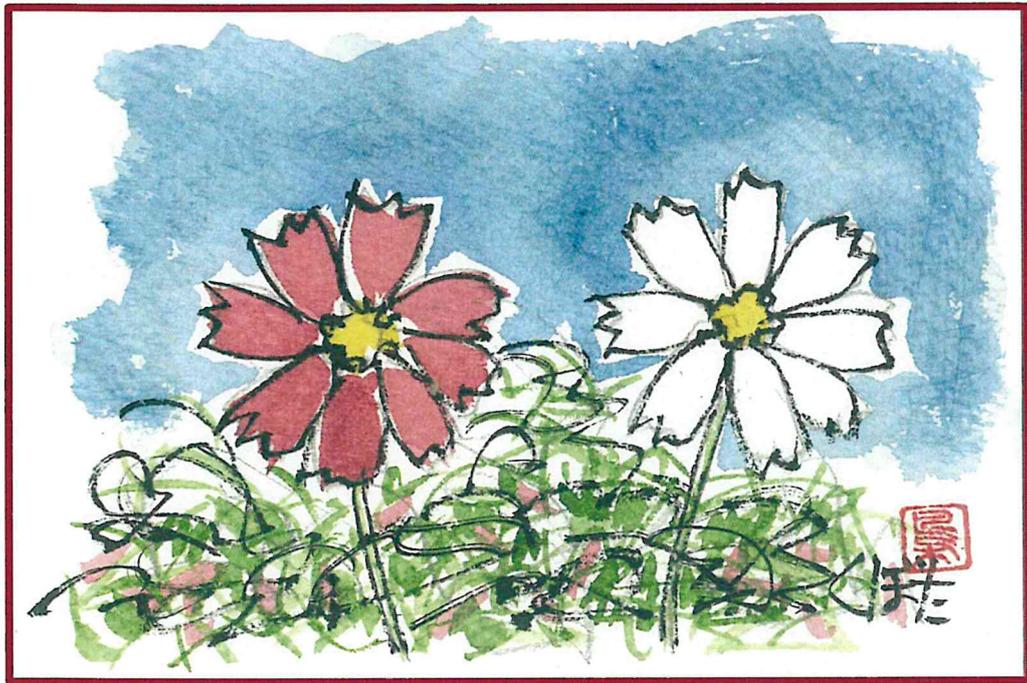
1時間ほどに及ぶインタビューでもっともたくさんのお話を話していただいたのですが、そのすべてを、その雰囲気をご紹介できなくて残念！次号は第2弾！ どんなお話を聞かせていただけるのか楽しみです。

(石川由美子、吉田久美子)



オレンジティほかほか

7月より新規事業開始！！



一般社団法人だんだん会

オレンジティほかほか

(認知症対応型通所介護事業・単独型：介護保険適応)

〒408-0021 山梨県北杜市長坂町長坂上条 436-4

TEL0551-30-7509 FAX0551-30-7519

問い合わせは、上記か法人本部 (0551-45-9566) まで

オレンジデイほかほか

『オレンジサロン』（認知症カフェ）を、3年間、北杜市内3か所で実施してきました。（朝日新聞厚生文化事業団の助成）その発展形として『オレンジデイほかほか』という事業所名の認知症デイサービスを、まず週3日実施します。新型コロナの感染の不安はまだ残ってはいるのですが、7月から事業開始予定です。北杜市内の方どうぞご利用ください！

<私たちの目標>

北杜市在住の認知症の方を対象に、専門的なケアを提供する通所介護（デイサービス）です。通いの場を拠点に、可能な限り自宅での日常生活を送ることができるよう、運動・創作・体操・生活動作訓練・口腔ケア等を通じて、心身の機能の維持回復を目指します。

また、笑顔でご自宅に帰られること、そして介護者に寄り添い、介護負担軽減を図ることを目指します。

<営業日> **月曜日** ・ **木曜日** ・ **土曜日** 年末年始休業（12月30日～1月3日）

<営業時間> **9:45～15:00**（5時間15分）

<定員> 12名

<対象となる方> 北杜市内に住民票がある要支援・要介護の認知症の方

<送迎など> 送迎あり（入浴サービスはありません）



モットーは
ゆっくり・・・
楽しく・・・
余裕ある活動を！

利用の問い合わせ・申し込み
受付中！！

地域看護物語

「ITとAI時代に育った」 25歳の新人訪問看護師です

看護師と聞いたらどんな人をイメージしますか？人によってはナースキャップを被った女性、ナース服に注射器、訪問バックを持った私服の訪問看護師、聞く人の年代などで十人十色のイメージがあると思います。

そのような中でも全てに共通しているのが、人に感謝される機会があること。これは人間として生まれた中で1番の幸せを感じられることだと思います。私は看護師として働けてとても幸せです。

「病名」ではなく、「生き方」

私は病棟を辞め、訪問看護師として働き1年が経ちました。25歳で男性訪問看護師は山梨県北杜市では最年少だそうです。

私の仕事は主に生活支援や終末期の方のケア・生きることの支援です。そのような中で私の意識が、『患者さん』ではなく『〇〇で暮らしている〇〇さん』と言う認識に自然と変わっていきました。何故なら、1番大きな対象が**病名**でなく、対象者の**生き方**に変わったからです。

病棟では、リスクがあると考えられた場合は、スケール表に沿って評価し、相手の“思い”よりも安全を優先するような支援していました。正直私は『自分だったら絶対嫌だな・自分の祖母や祖父だったら制限しろとは思いたくないな』と思いつつ葛藤し、看護師の役割だと割り切り患者様と接していました。

「希望」と「安全」の折り合い

しかし訪問看護師として働くと、今までの発想は通じませんでした。利用者さんの希望と安全をどれだけ折り合いを付けて叶えることができるかに頭を悩ませます。もちろん楽ではありませんが、家の構造や性格、体調など全てを踏まえて考えるため、絶対的な答えはありません。病院で働くことも素晴らしいと思いますが、しかしそれに匹敵する、いやそれ以上に地域看護はやりがいがあると感じています。



地域看護センターあんなん
石田陽基（いしだ はるもと）

私たちの世代の問題

私が一番感じていることを最後に伝えます。日本は超高齢者社会という人類が体験したことのない激動の時代をこれから迎えます。私は、都会から地方に移住し、教科書にあるグラフだけでなく高齢化ということを感じました。2050年には生産年齢と高齢者が1:1になります。“なんとかしないと駄目だよ”と客観的に捉えている場合ではありません。結論、**私たちの世代が真剣に考えないと日本は崩壊すると。私たちの世代の問題ととらえどうにかしないといけない**と考えました。高齢者の基準を年齢以外で考える、定年退職という概念を見直す等、色々な対策は取れると思います。

看護師はトランプのジョーカー

しかし医療現場の需要が増えることは間違われません。看護師は実働部隊であり、医療の世界ではどんな世界でも働けるトランプのジョーカーの様な存在でもっとも活用性のあるポジションだと思います。これからは病院がパンクし地域で高齢者を考えていくことが主体になっています。働く場所に迷いがある看護師がいるのなら、地域看護も視野に入れる同年代の方々が今後増えていけば良いなと思います。

20代は『ITとAI時代に育った』初の看護師です。新たな看護界の先駆者になれるよう丁寧に学び、時代に沿った多様性のある看護師になれるよう努力していきます。だんだん会は今後の地域医療・看護のモデルになる素晴らしい組織です。その一員として誇りをもって働いていこうと思います。

（だんだん便りを愛読してくださる皆さま、応援よろしくをお願いします。）

てくてく物語

『定期巡回てくてく24』(定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)の活動内容の一端を連載でお伝えしています

悪戦苦闘?! <その3>

これからの日本。社会全体が“悪戦苦闘”するのは、今回紹介するような方々のサポートではないでしょうか。

認知症の夫+認知症の妻

田中善吉さん(90歳、男性、要介護2)と、田中ミネさん(85歳、女性、要支援2)の二人暮らし。かなり重度の認知症の善吉さんを認知症中程度に見えるミネさんがお世話をしているのですが、時々“何が何だかわからない状態”になってしまうのです。

善吉さんは、元公務員。定年後、首都圏から北杜市に移住しペンション経営を続けてきました。

“怖い夫”...

いつのころからか、善吉さんは物忘れが激しく、暴言に見えるような言動・視線(目がすわる)・行動が増えてきました。穏やかにお話をしているかと思うと突然豹変し「うるさい!」と怒鳴りだす。爪切りの支援をしていて「ありがたいね」と静かに爪切りをしていたのに、突然「何をしているんだ!自分で切れるからさわるな!」と……。妻のミネさんには、さらに恐ろしい口調で怒鳴ったり……。失禁の世話をしているも……。

ある時、ミネさんは「パパが怖い……」というようになりました。あまりの酷さに精神科病院に入院した経歴もあります。

『私は、パパを絶対に怒らない』

そんな善吉さんの介護を一手に引き受けていたミネさんですが、いくら怒鳴られてもやさしく寄り添っていらしゃるのです。

Q「どうしてそんなにやさしくできるんですか」

A「私はパパを絶対に怒らない。そうやって傍にしようと思っているの。なぜかという、これまで大変つらいこともあったけれど、パパにはよくしてもらい今が幸せだから」

ミネさんの支援がカギ

そのミネさんも認知症が進行しているんです!善吉さんの髭剃り後、タオルを取りに台所に行き帰ってこない。迎えにいとってみると、掃除を始めている……。コップに水を入れにいったのに、卵焼きを作り始めたり(その日3回目の)。行動がつかない。生活維持困難か……。

二人の自宅での生活の継続のためには、とにかくミネさんの様々な支援をすることがカギとなっています。

今後どうなるの?

ミネさんが、最近ぼつりと「私、疲れちゃった」と。デイサービスやショートステイも時々利用するのですが、善吉さんが“家がいい”と行きたがらない。「小規模多機能サービス」など『在宅』を支えるサービスは一応あるのですが、利用したくない……。かといって定期巡回サービスてくてく24で支え切れるのか……。

本人は「家がいい」「どこへも行きたくない」と家での生活の継続を望み、ミネさんのようにかなりの認知症状態で介護、あるいは介護者の不在という状態の方をどう支えればいいのか……。

「こういう認認老夫婦は施設入所せよ」という日本社会にはしたくないですが、どう思いますか。



コロナ渦で、あたたかいお気持ちに 感謝！

当法人のグループホーム・訪問看護・定期巡回随時対応型訪問介護看護の事業従事者に自治体や、地元の民間企業、サービス利用のご家族、友人、知人等から、元気と励ましをいただきました。とても感謝しております。ありがとうございました！
在庫もなくなり、何処に発注しても品薄や販売停止等で手に入らず苦慮していたところでした。その感謝の気持ちをこの便りに載せて、届けさせていただきます。



マスクの在庫が少なり
職員も不安が募ってきました！
皆さんからの「思いやりマスク」で
安心につながりました。



沢山の手作りマスクは、暗い気持ちに「おしゃれの」楽しみを一緒に教えていただきました。

手間がかかっています！



消毒薬・グローブ（使い捨て手袋）



とても、心強くなりました！

さらに、「奏樹カフェ」の美味しいお弁当も届きました。毎日忙しい職員にとって朝のお弁当作りも一苦勞。嬉しかったです！ 活力になりました！



マスク
回収
BOX
です

※ 法人では、余裕のあるマスクを高齢者にお届けします！
※マスク回収BOXについては、法人HPを参照してください。マスク回収BOXは、法人の長坂事務所玄関に設置しています。

コロナストレスに動じず、「逆境を逆手に取る」私の好きな言葉です。